

定期作況報告

平成18年6月
(6月20日現在)

北海道立北見農業試験場

1. 気象経過

5月下旬：最高気温、最低気温、平均気温とも平年よりやや低かった。降水量は平年より極めて多かった（平年比292%）。日照時間は平年並みであった（平年比80%）。

6月上旬：最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年並みで、平均気温は平年より低かった。降水量は平年よりやや多かった（平年比125%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比60%）。

6月中旬：最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年よりやや低かった。降水量は平年より少なく（平年比41%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比61%）。

以上のことから、この1か月間（5月下旬～6月中旬）は平年と比較して、気温はやや低く、降水量は多く（平年比152%）、日照時間はやや少なかった（平年比68%）。

注）降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、各旬における過去10年間の出現値の幅に基づいているため、「平年並」に含まれる値の範囲は旬毎に異なる。

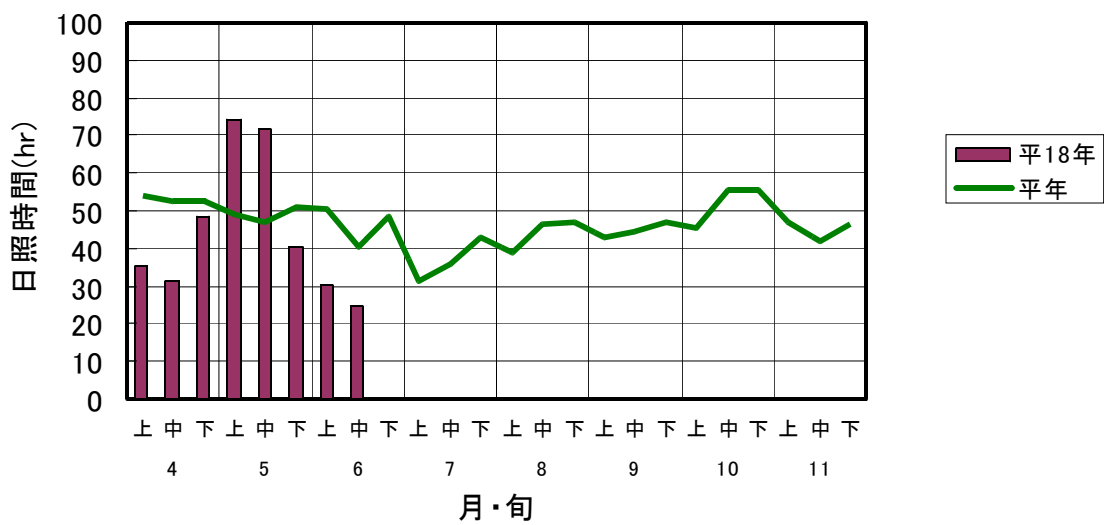
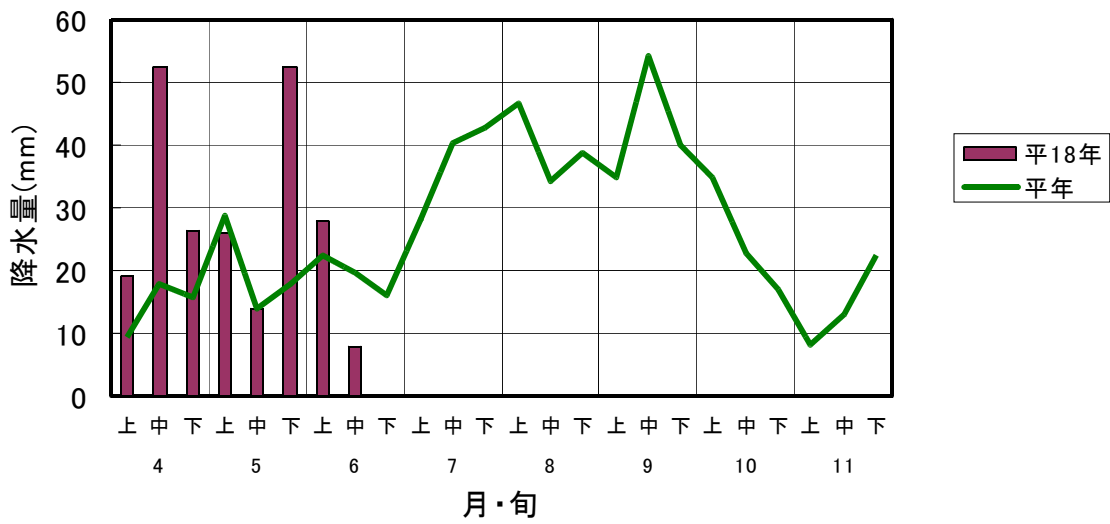
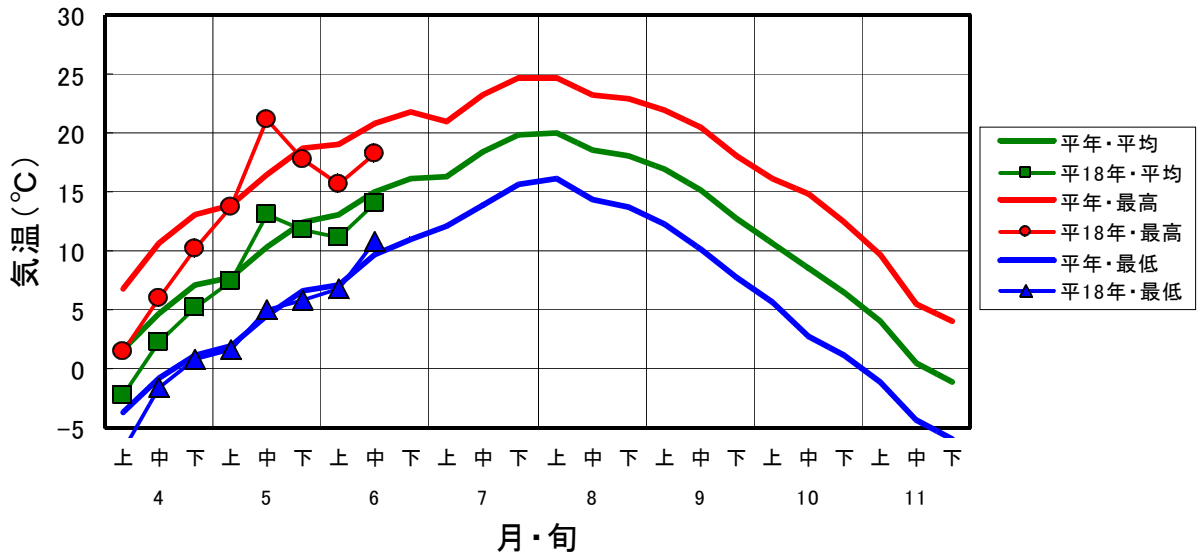
気象表

項目 月旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	11.8	12.5	△0.7	17.8	18.7	△0.9	5.8	6.6	△0.8
6月上旬	11.2	13.0	△1.8	15.7	19.1	△3.4	6.8	7.1	△0.3
6月中旬	14.1	15.0	△0.9	18.3	20.9	△2.6	10.8	9.5	1.2
平均	12.3	13.5	△1.2	17.3	19.4	△2.1	7.7	7.7	0.0

項目 月旬	降水量 (mm)			日照時間 (h)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	52.5	18.0	34.5	40.6	50.8	△10.2
6月上旬	28.0	22.4	5.6	30.2	50.3	△20.1
6月中旬	8.0	19.6	△11.6	24.7	40.5	△15.7
合計	88.5	58.4	30.1	95.5	141.2	△45.7

注) 1) 観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。

2) 平年値は前10か年間の平均である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走支庁管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦 作況：平年並

事由：気温は6月上旬以降、平年より低く推移した。出穂期は早生の「タクネコムギ」で平年並であったが、やや早生の「ホクシン」および中生の「ホロシリコムギ」では低温の影響を受け、平年より3～4日遅れた。草丈、茎数はほぼ平年並である。

以上のことから目下の作況は「平年並」である。

調査項目	タクネコムギ			ホクシン			ホロシリコムギ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
出穂期 (平成18年月.日)	6.6	6.6	0	6.13	6.10	3	6.16	6.12	4
草丈(cm) (平成18年6月20日)	105.3	102.3	3.0	90.0	90.9	△ 0.9	91.1	98.0	△ 6.9
茎数(本/m ²) (平成18年6月20日)	923	867	56	749	747	2	741	724	17

注) 平年値は前7か年中、「タクネコムギ」、「ホクシン」は平成14年(最凶)、15年(最豊)、「ホロシリコムギ」は平成11年(最凶)、15(最豊)年を除く5か年の平均。「ホクシン」の播種量は255粒/m²、その他の品種の播種量は340粒/m²。

2) 春まき小麦 作況：平年並

事由：6月上旬以降の低温により生育はやや遅れているが、栄養生長が延長され、草丈は平年並で茎数が平年よりやや多い。

以上のことから目下の作況は「平年並」である。

調査項目		ハルユタカ			春よ恋		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm)	(6月20日)	64.5	65.5	△ 1.0	66.7	66.9	△ 0.2
茎数(本/m ²)	(6月20日)	724	669	55	808	691	117

注) 「ハルユタカ」の平年値は過去7か年中、平成12年(最凶)、平成17年(最豊)を除く5か年平均。「春よ恋」の平年値は過去5か年中、平成14年(最凶)、平成17年(最豊)を除く3か年平均。

3) とうもろこし(サイレージ用) 作 況 : やや不良

事 由 : 播種期および出芽期は平年に比べ、それぞれ1日および2日早かった。しかし6月上～中旬の低温の影響のため、葉数は平年並であるが草丈は平年より低い。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	ディアHT		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.16	5.17	△ 1
出芽期 (月.日)	5.28	5.30	△ 2
草丈(cm) (6月20日)	20.5	28.4	△ 7.9
葉数(枚) (6月20日)	3.9	4.1	△ 0.2

注) 平年値は前7か年のうち平成16年(最豊)、17年(最凶)を除く5か年の平均。

4) 大 豆 作 況 : 不良

事 由 : 平年並の5月24日に播種を行った。播種後から低温に推移しており、出芽期は平年より3日遅く、主茎長は平年の約5割で、本葉数も平年を大きく下回っている。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	トヨコマチ			トヨホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.24	5.24	0	5.24	5.24	0
出芽期 (月.日)	6.10	6.7	3	6.10	6.7	3
主茎長(cm) (6月20日)	5.5	10.6	△ 5.1	3.7	7.7	△ 4.0
本葉数(枚) (6月20日)	0.1	0.9	△ 0.8	0.1	0.8	△ 0.7

注) 平年値は、前7か年中平成13年(最凶)、17年(最豊)を除く5か年の平均

5) 小 豆 作 況 : 不良

事 由 : 平年より2日遅い5月24日に播種を行った。播種後から低温に推移しており、出芽期は平年より10日遅く、主茎長は平年の約5割で、本葉は全く発達していない状態である。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	エリモショウズ			サホロショウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.24	5.22	2	5.24	5.22	2
出芽期 (月.日)	6.18	6.8	10	6.17	6.7	10
主茎長(cm) (6月20日)	2.2	4.1	△ 1.9	2.0	3.9	△ 1.9
本葉数(枚) (6月20日)	0.0	0.4	△ 0.4	0.0	0.6	△ 0.6

注) 平年値は、前8か年中平成10年(最凶)、17年(最豊)および試験を中止した12年を除く5か年の平均。

6) 菜豆

作況：不良

事由：平年より1日遅い5月24日に播種を行った。播種後から低温に推移しており、出芽期は平年より4～5日遅く、主茎長、本葉数ともに平年を大きく下回っている。

以上のことから、目下の作況は不良である。

調査項目	大正金時			福勝		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.24	5.23	1	5.24	5.23	1
出芽期 (月.日)	6.11	6.7	4	6.13	6.8	5
主茎長(cm)	(6月20日) 6.6	10.3	△ 3.7	7.1	9.2	△ 2.1
本葉数(枚)	(6月20日) 0.2	0.9	△ 0.7	0.2	0.9	△ 0.7

注) 平年値は、前8か年中平成11年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年の平均。

7) ばれいしょ

作況：平年並

事由：

植え付けはほぼ平年並の5月12日に行った。植え付け後5月中旬は気温が高く推移し、また5月下旬にまとまった降雨があったため、萌芽期は平年より「男爵薯」で1日、「コナフブキ」で3日早かった。萌芽後の6月上旬にも十分な降水があったが、低温・寡照に推移したため、茎長は「男爵薯」、「コナフブキ」ともほぼ平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期 (月.日)	5.12	5.11	1	5.12	5.13	△ 1
萌芽期 (月.日)	5.30	5.31	△ 1	5.30	6.2	△ 3
茎長(cm)	(6月20日) 17.6	18.6	△ 1.0	17.9	16.6	1.3
茎数(本/株)	(6月20日) 2.6	3.3	△ 0.7	2.7	2.6	0.1

注) 平年値は前7か年中、「男爵薯」は平成15(最凶)、17年(最豊)を、「コナフブキ」は平成14(最豊)、15年(最凶)を除く5か年の平均。

8) てんさい 作 況：不良

事 由：6月の低温寡照により、生育は大きく遅れ、地上部の生育量は移植、直播栽培共に平年の50%程度にとどまっている。

以上のことから現在の作況は「不良」である。

調査項目		移植						直播		
		モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較		平年	比較
草丈(cm)	(6月20日)	23.1	29.5	△ 6.4	24.5	29.3	△ 4.8	10.9	14.7	△ 3.8
生葉数(枚)	(6月20日)	10.9	12.0	△ 1.1	11.3	11.3	0.0	5.0	7.5	△ 2.5
茎葉重(g/個体)	(6月20日)	65	138	△ 73	79	122	△ 43	5	16	△ 12
根重(g/個体)	(6月20日)	9	27	△ 18	13	25	△ 12	0	2	△ 2

注) 平年値は前7か年中、直播「モノホマレ」は平成11年(最凶)、16年(最豊)、移植「モノホマレ」は平成11年(最凶)、17年(最豊)、「アーベント」は平成11年(最凶)、16年(最豊)をそれぞれ除く5か年の平均。

9) 牧草(チモシー) 作 況：平年並

事 由：6月5日の草丈は平年並であった。6月上～中旬の低温の影響のため出穂始は平年より6日遅かったが、5月下旬～6月上旬が平年より多雨であったため、6月20日の草丈は既に1番草刈取時の平年値をやや上回っている。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
出穂始	(月.日)	6.17	6.11	6
草丈(cm)	(6月5日)	72	74	△ 2
	1番草	(106)	97	(9)

注) 平年値は前4か年の平均(耕種概要・調査項目が大幅に変更されたため)。

1番草刈取時の草丈の本年の値(カッコ内)は6月20日の数値を示す

10) たまねぎ

作 況：やや良（参考）

事 由：移植後の5月中旬は平均気温が高く、日照時間も多く、降水量は平年並であったため苗の活着は順調であった。5月下旬～6月中旬は、平年と比較して低温・少照であったが、移植後の活着が順調であったことから生育への影響は小さかった。5月6日に移植した早生種「改良オホーツク1号」は、草丈、葉数、葉鞘径とも平年値を上回り、5月12日に移植した晩生種「スーパー北もみじ」は、草丈はやや低いものの、葉数と葉鞘径は平年並である。

以上のことから、現在の作況は「やや良（参考）」である。

調査項目		改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm)	(6月20日)	49.9	34.3	15.6	30.4	32.9	△ 2.5
生葉数(枚)	(6月20日)	6.3	5.2	1.1	5.6	5.3	0.3
葉鞘径(mm)	(6月20日)	11.2	8.4	2.8	7.9	8.1	△ 0.2

注) 平均値は、沖積土壌で試験を開始した平成15年から平成17年までの3か年の平均。